

りんくう総合医療センター上部消化管内視鏡検査（経口・経鼻）の説明書

【検査の概要・目的】

上部消化管（食道・胃・十二指腸の一部）の中を口あるいは鼻から挿入した内視鏡で観察し、診断を行います。必要に応じて色素散布や病変の一部を鉗子でつまみ（生検）、組織（細胞）の検査を行います。出血がある場合には止血処置などを行う場合があります。手順として前処置は、胃の動きを抑えるための筋肉（皮下）注射、ゼリーやスプレーによる喉の麻酔が行われます。

【検査に伴う副作用・偶発症】

- ・使用する薬剤による副作用
発疹・嘔気、ごく稀にショック（血圧低下）、呼吸不全など
 - ・検査手技に伴う偶発症
内視鏡検査や組織検査により、稀に鼻出血（経鼻の場合）や消化管出血、消化管の損傷、穿孔（消化管に傷がついたり、穴があいたりすること）、ショック、呼吸不全など偶発症の頻度は0.012%、死亡率は0.00076%と報告されています。副作用・偶発症につきましては最善の処置・治療を保険診療にて行います。
 - ・経鼻の場合
鼻腔が狭い方の場合、鼻の麻酔をしても多少の痛みがあります。検査後に鼻血が出ることがありますが、ほとんどは数分で止まります。また、鼻腔が狭く内視鏡挿入が困難な場合や、検査施行医が経鼻内視鏡での検査が困難と判断した場合は従来からの口からの内視鏡検査に変更させていただきます。
- * 抗血栓薬（血液が止まりにくくなる薬）を服用中の方は事前にお申し出ください。また、そのほかのお薬を服用している場合もお申し出くださいようお願いいたします。

【注意事項】

※検査当日は朝食を食べずにご来院ください。

1. 内視鏡検査を受ける前の準備と注意事項

- ・検査前日の夕食は、夜8時ごろまでに済ませ、夜9時以降は食べないでください。水分飲用（水・お茶）は、午前2時まで可能です。
- ・検査当日の朝は、7時までであれば水分飲用はコップ1杯（100ml）まで可能です。
- ・タバコも控えてください。
- ・女性の方は化粧をなるべくせずに、口紅は取っておいて下さい。
- ・糖尿の薬を飲まれている方は、朝絶食となりますので、朝は飲まないでください。

2. 検査終了後は

- ・のどの麻酔が残っているため、絶食が必要となります。検査終了後に看護師が説明いたします。
- ・車の運転も見合わせてください。

鎮静下内視鏡を受けられる方へ

- 1 苦痛を和らげるため、鎮静催眠作用のある鎮静剤を使用するとまれに薬剤アレルギー、呼吸抑制、血圧低下などがおこることがあります。検査当日は眠気やふらつきが残ることがありますので、検査終了後は絶対に車やバイク、自転車などを運転しないでください。(眠気等は人によって異なりますが、半日ほど続くこともあります。)
- 2 ふらつきによる転倒などの危険防止のため、検査終了後1時間は必ず病院内の回復室で安静時間をとっていただきます。できれば検査後は付き添いの方と一緒にご帰宅いただくのが望ましく、70歳以上の方は必ず付き添ってもらってください。
- 3 検査終了後には、眠気などのため、通常の仕事に支障が出る場合がありますのでご注意ください。

上記の注意事項を守れない場合、鎮静剤の使用はできませんのでご了承ください。